

製品名: β -ガラクトシダーゼウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21397**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:76kD;Observed MW:100kD

抗原情報

遺伝子名	GLB1
別名	GLB1;ELNR1;Beta-galactosidase;Acid beta-galactosidase;Lactase;Elastin receptor 1
遺伝子 ID	2720.0
SwissProt ID	P16278
免疫原	ヒト GLB1 の合成ペプチド

背景

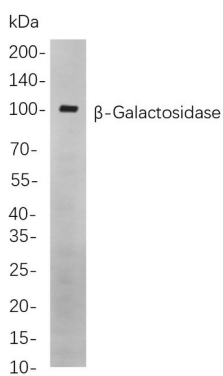
細胞局在: リソソーム。この遺伝子は、グリコシルヒドロラーゼ 35 ファミリータンパク質のメンバーをコードする。選択的スプライ

シングにより複数の転写バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つは、タンパク質分解によって成熟リソソーム酵素が生成されるプレプロタンパク質をコードする。この酵素は、ガングリオシド基質およびその他の複合糖質から末端β結合ガラクトース残基の加水分解を触媒する。この遺伝子の変異は、GM1 ガングリオシドーシスおよびモルキオ B 症候群を引き起こす可能性がある。[RefSeq 提供、2015年11月]

研究分野

-

画像データ



マウス脳細胞ライセートのβ-ガラクトシダーゼウサギ mAb を用いたウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。